

子供から今の大人に伝えたいこと

入間野中学校 2 年 富永 佳鈴

大人は、なぜ罪のない子供たちに虐待したり命を落としたり傷つけたりするのでしょうか。今年の三月に千葉県で小学生三年生が自宅を出たまま行方不明になり殺害されたという痛ましい事件が起こりました。またテレビや新聞のニュースを見聞きするたびに、私は子供に危害を加える大人を絶対に認めない、そして、そのような大人が増え続けてほしくないと願っています。

私は訴えます。罪のない子供たちを痛め続けしないでください。私は今、中学生です。中学生として私は、これからずっと小さな子供や小学生、またお年寄りにも親切に接していきたいです。私の周りには優しい大人がたくさんいます。どんなときでも味方になってくれる親やいつも交通事故にあわないかと心配してくれるおじいちゃん、おばあちゃん、そしていつも暖かい目で見守ってくれる近所の人や地域の人、学校の先生、そんな人たちがいるから毎日を楽しく過ごせています。また、私は中学二年生になり、後輩ができました。後輩たちには普段は優しく接し、注意すべき点は注意する。とにかく自分が腹が立っていてもその怒りを後輩たちにぶつけないようにしています。そして私は大人になっても子供たちを傷つけずに親切にしていきたいです。そのためには、自分に嫌なことがあっても子供たちに八つ当たりをせずに傷つけるような行為をしないように心がけます。

そして私は、次のような大人になることを宣言します。一つ目は子供やお年寄りを大切にできる大人になることです。どんな立場であっても同じ人間です。たくさんの人が私のことを大切にしてくださっているように私も同じことを子供たちやお年寄りの方にしてあげたいです。

二つ目は、怒るべきときを間違えない大人になることです。たとえば横断歩道や道路で危険なことをしていたら注意すべきですが、子供が公園の中で遊んでいるときに、近くの大人が子どもの声がうるさいと腹が立ってやつあたりするのは子供たちを傷つけるだけだと思います。ですから、私は、自分の感情で左右されないように冷静な判断ができる大人になりたいです。

私の通っている入間野中学校では生徒会で「いじめゼロ宣言」があり、いじめのない学校を目指した取り組みをしています。その具体的な取り組みの内容は、生徒朝会で毎回いじめゼロ宣言のスローガンを読み上げたり全校生徒にいじめに関するアンケートを行うなどです。また今年は、生徒手帳にいじめゼロ宣言の署名の欄をつくりました。中学時代にいじめのない学校を目指し、人を大切にすることは大人になるうえで大切なことです。私は、心の広くあたたかい、子供たちを大切にできる大人になりたいです。そしてこの社会から子供に関する痛ましい事件がなくなる社会を目指すために自ら進んで子供たちを守る行動をしていきたいです。子供を傷つける大人たちを少しでも減らし、あたたかい目で子供たちを見守り、辛いことがあったときは子供に寄り添ってあげられる大人になることを決意します。